

「第3回 湖西市立地適正化推進協議会」議事録

日 時：2020年2月14日10時00分から12時00分

場 所：健康福祉センターおぼと3階 特別会議室

参加委員：小泉祐一郎会長、夏目亮委員、牧野敏之委員、井川あい子委員、鈴木誓子委員、高柳邦彦委員、山内秀彦委員、大隅泰史委員 8名

事務局：土屋都市整備部長、吉田都市計画課長、藤井都市計画課長代理、隅田都市計画係主任、今泉都市計画係副主任 5名

協議内容

(1) 都市機能誘導区域及び都市機能誘導施設の再検討について

(2) 都市機能誘導施策について

協議会の流れ

- 委員) ・都市機能誘導区域を考える上で、市役所周辺は考えなくてもいいのですか。商業系利用がされていないため外しているのですか。
- 事務局) ・ピーク時運行本数(片道)3本以上となる鉄道駅やバス停周辺に都市機能誘導区域の指定ができますが、湖西市ではバスの運行本数が限られているため、駅周辺のみが都市機能誘導区域が設定できることとなります。市役所周辺は、駅から徒歩圏800m以内の範囲から外れてしまうため区域外としています。
- 委員) ・「車依存を軽減する」とありますが、湖西市には多くの自動車工場があり、車が売れなくなってしまうと従業員等の生活に影響が出てしまうのではないのでしょうか。
- 事務局) ・立地適正化計画は、車の利用を否定する計画ではありません。車を使えない人も移動手段が確保でき、生活サービスを受けることができるようなまちづくりを推奨している計画となります。
- 委員) ・津波を想定して計画を策定することは重要であると思います。新居町駅周辺には、安全で安心して暮らせるような施設を誘導するべきではないでしょうか。
- 会長) ・新居町駅周辺は、津波問題があるため、ある程度の高さのある施設を誘導することが望ましいです。
- 委員) ・現在、都市機能誘導区域を検討していますが、鷺津駅前の区画整理も含めて、まちなか居住を進めるべきだと思います。
- 会長) ・商業施設とマンションが一体となった高層ビルを都市機能誘導区域に誘導することにより、都市機能誘導区域＝(イコール)居住誘導区域になることも考えられます。
- 会長) ・津波が来た場合、新居関所付近に住む人は、西側の山に避難ができ、東側に

住む人は工場等に避難ができるかと思います。新居町駅周辺や図書館周辺に住む人の避難場所がないため、高層ビル等避難場所となる施設を誘導する必要があります。避難場所となるように外階段等を設ける際の補助金等がありますか。

- 事務局) ・湖西市津波避難施設整備事業補助金交付要綱があります。
- 会長) ・新居の景観計画等が設定されている区域を含めるよりも工業系用途を見直し、図書館や高校周辺を区域設定してもいいのではないのでしょうか。
- 委員) ・鷺津駅周辺には建物を建てる土地がないため、集落にある程度の施設を設けて公共交通で結ぶという考えもできるのではないのでしょうか。
- 会長) ・市街化調整区域の集落拠点にも商店等の必要な都市機能はありますが、立地適正化計画は、都市拠点到集積をすべき都市機能が検討のメインとなります。
- 委員) ・通学路の整備等も含めて、子どもが生活しやすいまちづくりも考えていただきたいです。
- 委員) ・いろいろな施設がそろっていると便利になりますが、居酒屋等の一部の店舗は子どもへの悪影響になりかねないと思います。
- 会長) ・立地適正化計画は、万能計画ではなく、あくまでも施設や居住の誘導がメインとなります。誘導する施設も慎重に考える必要があります。
- 委員) ・鷺津駅周辺の都市機能誘導区域には、スーパー等が既に立地しています。人が住むところにスーパー等が集まってくるため、まずは居住の確保を優先すべきではないのでしょうか。
- 会長) ・来年度は、居住誘導区域について検討を行います。

(以上)

備考